

環境情報センターだより

発行 宮城県保健環境センター
住所 仙台市宮城野区幸町 4-7-2
TEL 022-257-7183
FAX 022-257-7194

2008年
第2号
2008.12.25

今年も残り少なくなりました。先頃まで構内にあるアメリカフウが初冬の空をバックにして紅紫色に染まっていました。紅葉は青空と研究棟の白壁のコントラストが見事でした。アメリカフウは別名モミジバフウとも言われ、北米中南部から中米原産のマンサク科の落葉樹です。

「環境情報センターだより」第2号ではセンターで実施した環境教育リーダー研修会や環境教育実践セミナーなどの様子を紹介します。また新着の図書やDVDソフトなどの情報を掲載しています。どうぞご覧ください。（企画総務部）



情報センターニュース

◆「環境教育リーダー研修会の開催」

今年度から新たに環境教育リーダー制度が発足し、各専門分野から44名の方が各地で行われている環境保全活動の指導者として活躍しております。研修会は、11月27日に保健環境センターにおいて開催され、宮城教育大学環境教育実践研究センターの島野智之准教授から



研修会で講演を聞く参加者

「ESD(持続可能な開発のための教育)の10年の中間をむかえるにあたって」と題した講演がありました。

ディスカッションでは参加者から多くの意見や質問などがあり、活発な意見交換が行われました。



講演会の様子

◆「環境教育実践セミナーの開催」

12月10日に環境情報センターにおいて、環境教育実践セミナーを開催しました。環境教育リーダーや環境教育に取り組んでいるNPOの方の出席がありました。

環境教育リーダーの菅谷匡さんから「エコワットを



実践セミナーの様子

使った省エネ対策と省エネ性能カタログの使い方」と題した事例紹介がありました。

また、環境情報センターから教材や環境学習プログラムの事例紹介を行い、その後に意見交換を行いました。



事例紹介の様子

◆「地域の環境教育活動」の紹介

11月5日、富谷町立日吉台小学校において、5、6年生の生徒を対象にして「省エネ教室」が開催されました。省エネルギー普及指導員が講師となり、私達の生活に必要な電気は、火力、原子力、水力発電、太陽光や風力発電から供給されていること、化石燃料から排出するCO₂は地球温暖化に寄与することからエネルギーを大切に使うことなどを学びました。

生徒達は模型を使った火力発電のしくみや手回し発電キットによる電気の強さの比較、また大気中のCO₂濃度による温度上昇を調べました。



温暖化効果キット



省エネ教室の様子



手回し発電キットによる実験

お知らせ！！ 環境教育リーダーの活動の様子(写真、記事など)をお知らせください。
センター便りに掲載したいと考えています。



- ◆ **今回購入した図書、DVDソフトなどの概要を紹介します。どうぞご利用ください。**
なお、貸出についてはホームページ「環境学習」のページをご覧ください。

■ 図 書

《 生態学事典 》

巖佐 庸 他（編） 共立出版（発行所）

概要: 298名の執筆者による678項目の詳細な解説を掲載しています。生態科学、環境科学、生命科学、生物学教育、保全や修復、生物資源管理をはじめ、生物や環境に関わる広い分野の人に必要な事典です。

《 写真が語る 地球激変 》

フレッド・ビアス（著） ゆまに書房（発行所）

概要: 世界各地の過去と現在を対比する250枚の写真を掲載し、わずかな時間間に起こった衝撃的変化を簡潔に解説しています。地球温暖化などの問題が地球にどれほどの影響を与えてきたのか、視覚に強く訴えています。

《 アリになったカメラマン 》

栗林 慧（著） 講談社（発行所）

概要: 著者が自ら組み立てたユニークなカメラで、わくわくする昆虫のすがたを次々と見せてくれる昆虫写真家。アリの目でみた世界を撮れるカメラを完成させたアイデアと技術の秘密を解説しています。

《 コンビニ弁当 16万キロの旅 ～食べものが世界を変えている～ 》

千葉 保（監修） 太郎次郎社エディタス（発行所）

概要: コンビニから世界が見える! 「フードマイレージ」や「バーチャルウォーター」って何? コンビニとコンビニ弁当を通して、日本の食糧輸入、環境・水問題までを読み解きます。

《 ようこそ宇宙の研究室へ ～すばる望遠鏡が明かす宇宙のなぞ～ 》

布施 哲治（著） くもん出版（発行所）

概要: すばる望遠鏡を使って観測した、太陽系の一番遠くにある小天体や、地球から最も遠い銀河など、最新の研究成果を見せながら、太陽系や夜空にかがやく星たちを解説しています。

《 地震と火山の島国 ～極北アイスランドで考えたこと～ 》

島村英紀（著） 岩波書店（発行所）

概要: 海底火山がたまたま顔をだしたという特異ななりたちの島、アイスランド。地球物理学を研究する科学者が地震と火山に覆われた世界最北の小国の自然と文化、人々の暮らしを温かなまなざしで描いています。

《 地球カレンダー ～サヨナラ愛しのプラネット～ 》

清水 伴雄(著) ごま出版(発行所)

概要: 地球 46 億年のおおまかな流れを身近な尺度として 1 年 365 日のカレンダーに置き換えて、分かりやすいスタイルで構成。私たち人間が引き起こしている環境破壊や地球温暖化について、子供から大人まで地球のことをじっくり考えてもらうためのメッセージが込められています。

■ DVDソフト

《 地球交響曲第1番 》

瀧村仁事務所(販売元)

概要: 母なる星・地球の未来にとって、示唆的で重要なメッセージを持つ 4 人の人のドキュメント。登場人物は、いずれも現代の常識を越えた事を成し遂げた人、あるいは体験した人である。一粒の普通の種から一万三千個の実のなるトマトの巨木を作った野澤重雄、宇宙遊泳中に不思議な体験をした宇宙飛行士のラッセル・シュワイカート、単独で世界の八千メートル級の山全てに登りつくしたアルピニストのラインハルト・メスナー、象の赤ちゃんを育て野生に帰す活動をしている動物保護活動家のダフニー・シュルドリックが語ります。

《 地球交響曲第2番 》

瀧村仁事務所(販売元)

概要: 心を病んだ人々を受け入れ、憩いの場・安らぎの場である「森のイスキア」を主催する佐藤初女、素潜りで 100m を越える記録を作った海洋冒険家のジャック・マイヨール、広大な宇宙でET探しを続けている天文学者のフランク・ドレイク、チベット仏教の最高指導者の 14 世ダライ・ラマ法王が語ります。

《 地球交響曲第3番 》

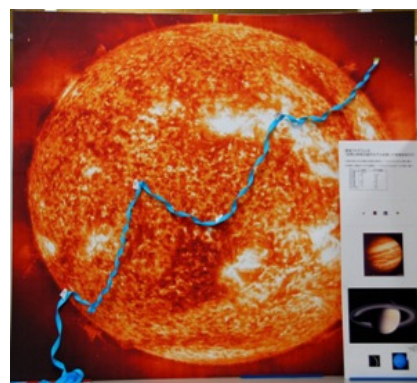
瀧村仁事務所(販売元)

概要: ロシアのカムチャツカで熊に襲われて亡くなった写真家、星野道夫と行くはずだったアラスカの大自然の旅を縦軸にして、宇宙的なスケールで人類の未来を語る宇宙物理学者フリーマン・ダイソン博士を太古からの鬱蒼とした森に囲まれ、野生のオルカ達が集まってくるカナダ・ハンソン島で撮影。また、ハワイからタヒチ島までの、かつて祖先達が渡ってきた外洋カヌーの航海を復活させた、ハワイ先住民族ナイノア・トンプソンを登場人物としています。

■ 展示物

《 縮尺モデルを使って地球を知ろう 》

地球環境を考える環境学習では、まず地球の存在を実感して学ぶために、理科年表から調べた太陽系の惑星間の距離比較スケール図(青テープ)や大きさを縮尺(右下フレーム)したものを作成しました。



太陽系パネル